

# 次代へ繋ぐ、確かな一歩

道政報告 Vol.8 北海道議会議員

# 佐々木 大介



石狩地域版 石狩市・当別町・新篠津村

佐々木大介道政事務所

〒061-3211 石狩市花川北1条4丁目93一條ビル2F  
TEL 0133-77-8580 FAX 050-3512-1195  
E-mail info@d-sasaki.com



友だち  
募集中!!  
佐々木大介  
公式LINE



活動を  
定期配信!!  
佐々木大介  
公式サイト

<https://www.d-sasaki.com/>

## 北海道議会 第4回定例会 11/26(水)~12/12(金)

北海道議会第4回定例会では、国による電気・都市ガス料金支援の動きに呼応し、道としての追加支援策を盛り込んだ補正予算を議決しました。あわせて、ヒグマ出没事案の急増への対応体制整備や、大雨で被災した施設等の災害復旧事業などを計上し、総額276.8億円を追加で議決しました。

### 当面の物価高対応（経済対策の第一弾）

### 当面の物価高対応（既存施策の活用）

▶ 本格的な厳冬期を迎える中、国の電気・都市ガス料金支援に呼応して、LPガスと特別高圧電力の利用者支援、福祉灯油事業への支援拡充を行う。

▶ 既存施策のうち、現時点で申請可能な支援策について、道民の皆様と事業者の方々にご活用いただけるよう積極的かつ丁寧な情報発信を行う。

#### LPガス利用者支援

#### 特別高圧電力利用者支援

#### 高齢者等の冬の生活支援

4定補正：27.6億円

4定補正：1.1億円

既定予算

LPガスを利用する一般消費者等への支援

特別高圧電力を利用する中小企業等への支援

高齢者・障がい者・ひとり親世帯等の燃料費等への支援

1契約あたり最大2,000円を値引き

1kWhあたり  
令和8年1月、2月：2.3円  
3月：0.8円

市町村が実施する「福祉灯油事業」に対し交付基準額を1.5倍に拡充



#### 主な既存支援施策

##### 【生活者支援】

- **勤労者福祉資金**  
中小企業等の従業員や季節労働者等の生活に必要な資金を低利で融資
- **生活福祉資金**  
低所得者・障がい者・高齢者世帯に対し経済的自立と生活の安定を目的に貸付

##### 【事業者支援：融資等】

- **中小企業総合振興資金**  
道内の中小企業が道内で事業を行う場合に必要資金を低利で融資
- **小規模企業者等設備貸与制度**  
小規模企業者等の創業及び経営の革新に必要な設備導入を支援

##### 【事業者支援：生産性向上】

- **ものづくり産業分野人材確保支援事業**  
ものづくり産業における生産性向上や人材確保等を支援するため、専門家を派遣
- **林業・木材産業経営力向上特別対策事業**  
経営力強化に向けた労働環境改善に資する機械器具等の導入に必要な経費を支援

##### 【一次産業支援】

- **漁業振興資金**  
沿岸漁業者の経営の安定向上のため、短期の低利な資金への利子補給
- **林業労働環境整備事業**  
林業における労働環境改善のため、安全確保装備の導入に必要な経費を支援

## 泊発電所3号機の再稼働に知事が同意を表明

全国の電力各社の家庭向け電気料金（モデル試算）

泊発電所3号機の再稼働をめぐり、道議会では「安全の確保」と「原子力防災の実効性」を最優先に検証を重ねてきました。北電は2013年に新規規制基準への適合審査を申請し、2025年7月30日に原子力規制委員会から原子炉設置変更許可を取得。道は道内各地での説明会や関係自治体・団体からの意見聴取を重ね、2025年12月10日、鈴木知事が再稼働への同意を表明しました。私は特別委員会の一員として、既に再稼働した発電所の安全対策や先進県の防災の取組を調査し、連合審査会における参考人質疑・集中審議で具体論を深掘りしてきました。決断には責任が伴うことを自覚し、知事判断を尊重しつつも、道民の不安払拭と更なる安全・防災対策の向上へ、道議会の立場から継続して審査・提言を行ってまいります。



地域	月額（概算）	前提使用量
北海道（現状）	約9,340円	230kWh
北海道（値下げ後）	約8,300円	230kWh
沖縄	約8,990円	260kWh
東京	約8,640円	260kWh
東北	約8,490円	260kWh
中部	約8,300円	260kWh
四国	約8,300円	260kWh
中国	約8,060円	260kWh
関西	約7,780円	260kWh
北陸	約7,470円	230kWh
九州	約7,440円	250kWh

※北海道の値下げ後は、泊発電所3号機再稼働後の家庭向け電気料金  
※従量電灯、契約電流30A、使用電力量は各公表値による。

# 「更生保護活動を応援する北海道議会懇話会」を設立 保護司として地域奉仕に従事

10月24日（金）札幌教育文化会館にて開催された「北海道・道央ブロック更生保護研究大会」に出席いたしました。本年、北海道議会では「更生保護活動を応援する北海道議会議員懇話会」を設立し、犯罪や非行をした方々を社会の中で適切に処遇するとともに、地域社会の理解と協力を得ながら再犯防止に取り組む更生保護活動について、理解促進を図っております。あわせて、保護司の皆さまが安全に活動できる環境整備や支援の充実を目的に、勉強会等を開催しています。私自身も本年12月に保護司の委嘱を受け、保護司として地域奉仕に携わることとなりました。犯罪のない地域づくりを目指し、関係機関・地域の皆さまと連携しながら、今後も研鑽を重ねてまいります。



**選挙から変える  
日本の未来**  
—道志会からの提言—  
公正で開かれた政治への第一歩

【道志会とは】  
道庁事務局（元北海道議会議長）を軸に北海道議会議員、札幌市議会議員はじめ市町村議員等で構成され、国政、地方政治の発展向上を目的に活動しています。  
●党勢のコンテストについては、制度、現職に即する議員の提案も取り入れ、大胆に知念に導いた選挙制度改革から技術的な政治改革が重要と考え、皆様に向けた提言を致します。

## 「選挙から変える日本の未来」 選挙制度改革に係るシンポジウムを開催

11月29日（土）私が所属する政治塾「道志会」の主催で選挙制度改革に係るシンポジウムを開催しました。政治不信や投票率の低迷が続く中で、「政治への信頼をどう回復するのか」「公正な選挙制度とは何か」現職議員が集まり議論を重ね、今回の開催に至りました。人口減少が続く地方から「どうやって民意や地域の声を国政に届けるのか」「1票の価値は人口だけで測れるのか」「比例代表制や二院制のあり方」「国税で政党活動を支える政党交付金はこのままでよいのか」「首相を直接選ぶ首相公選制は実現可能か」こうした論点について、現在の選挙制度の課題を整理し、目指すべき方向性を提言書として取りまとめ、発表しました。「北海道から政治を変える。」その思いを胸に、これからも全力で取り組んでまいります。



## 議 会 活 動 フ ォ ト



◁第46回新しいつ青空まつり  
場所：新篠津村自治センター

森林土木現場 現地視察 ▷  
場所：むかわ町・新ひだか町

「北海道りんかつ議連の森」育樹活動▷  
場所：道民の森（青山中央地区）



△当別の日本酒を楽しむ会  
場所：ふとみ銘泉 万葉の湯



10/12(日)



10/14(火)

◁石狩市民文化祭（詩吟 吟詠）  
場所：花川北コミセン



10/16(木)

△石狩湾新港管理組合 中央要請  
場所：国土交通省